

株式会社アドバンテスト
決算説明会

2011年 1月27日
常務執行役員 中村 弘志

2010年度 第3四半期 決算報告

第3四半期累計 前年同期比で売上高約2.5倍
営業利益60億円達成

業績の概要		ADVANTEST.							
第3四半期累計		前年同期比で売上高約2.5倍 営業利益60億円達成						(単位: 億円)	
2009年度		2010年度							
1Q-3Q 累計		1Q	2Q	3Q	前期比 (%)	前年 同期比 (%)	1Q-3Q 累計	前年 同期比 (%)	
受注高	447	308	233	213	-8.1	14.7	754	68.9	
売上高	317	235	286	254	-10.9	97.5	775	144.9	
売上原価	173	119	149	135	-9.0	57.1	403	133.4	
売上総利益	144	116	137	119	-13.0	178.8	372	158.9	
営業利益	-130	18	29	12	-58.6	-	60	-	
営業外収支	16	-2	-4	-2	-	-	-9	-	
税引前純利益	-114	16	25	10	-58.5	-	51	-	
当期純利益	-128	8	18	7	-62.4	-	33	-	
受注残	188	276	223	182	-18.4	-3.3	182	-3.3	

○ 当第3四半期の業績概要

- ・ 受注高は、213億円 前期比で 8.1%減少
- ・ 売上高は、254億円 前期比で10.9%減少

また、

- ・ 営業利益は、 12億円
- ・ 税引前純利益は、10億円
- ・ 当期純利益は、 7億円

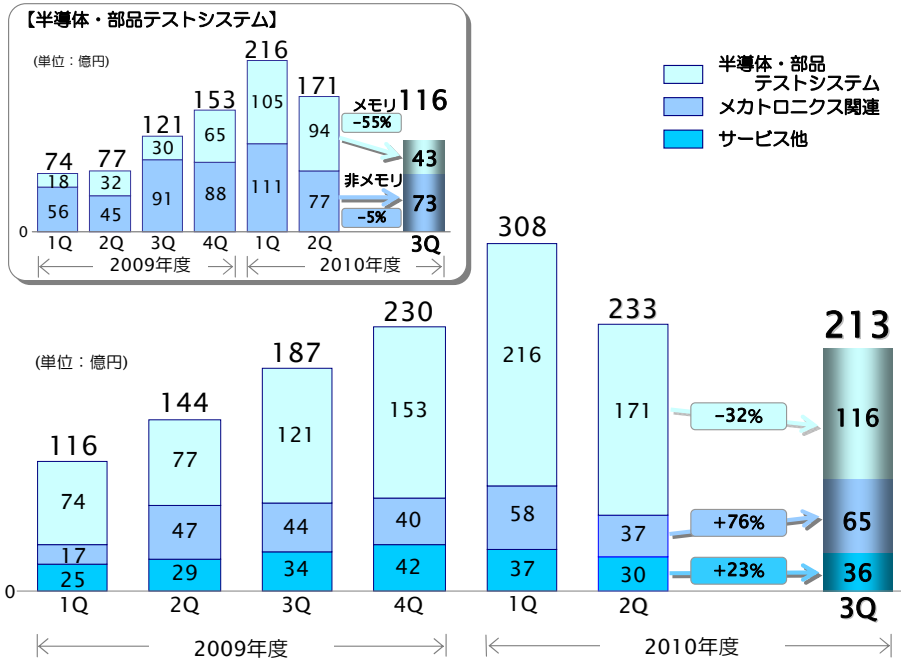
2010年第2四半期との比較では
いずれの業績も前四半期を下回った

しかし、事業環境が悪化する中でも
前年同期比、前年同累計期間比で
大きく業績を伸ばした

○ 受注残は182億円

受注高 事業セグメント別

ADVANTEST



○ 2010年度第3四半期の事業セグメント別受注高

○ 半導体・部品テストシステム事業

・前期比 32%減 116億円

(主な減少要因)

・メモリ・テスト

前期比55%減

DRAM市場の軟調に伴いDRAM価格の低下が止まらず、顧客各社が生産増に向けた投資を抑制
想定以上に落ち込んだ

・非メモリ・テスト

前期比 5%減

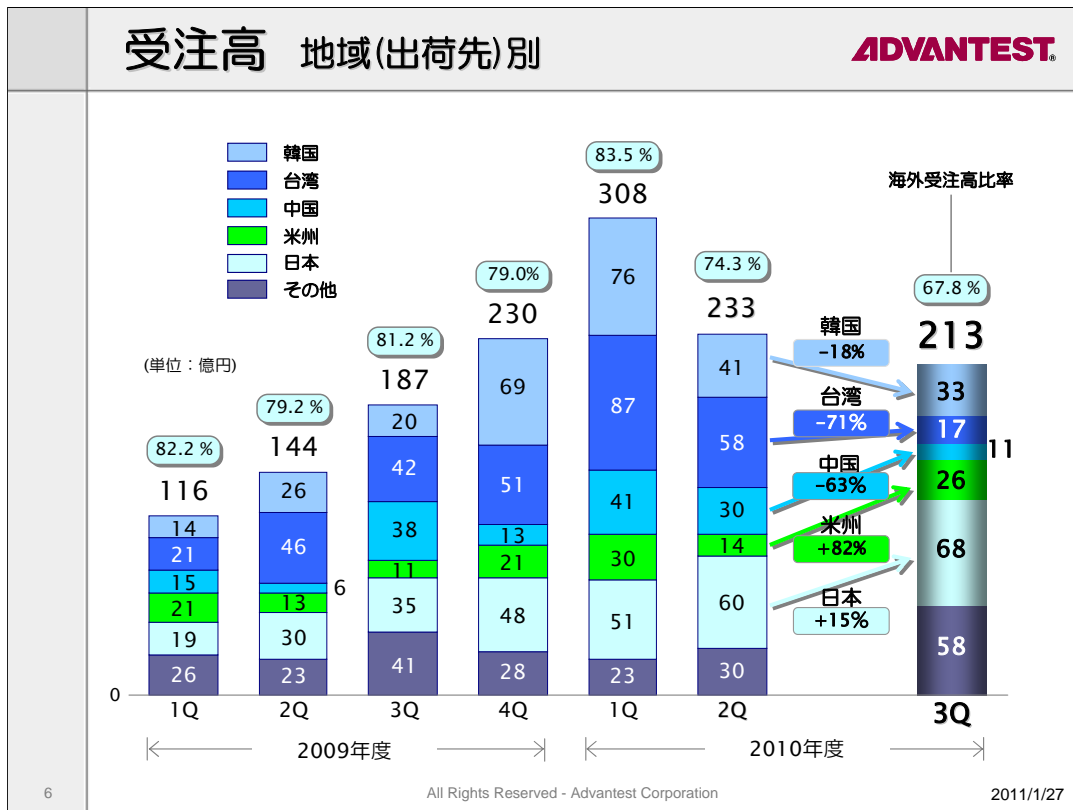
デジタル家電などの最終製品需要の落ち込みの影響により、やや前期を下回った

○ メカトロニクス関連事業

・前期比76%増 65億円

(主な増加要因)

・テスト・ハンドラで大口商談を獲得



○ 地域別受注高

- ・ 日本、米州で増加

○ 主な地域の動向

(日本)

MCU向けの非メモリ・テストが増加

(米国)

次世代MPU向けの非メモリ・テストが増加

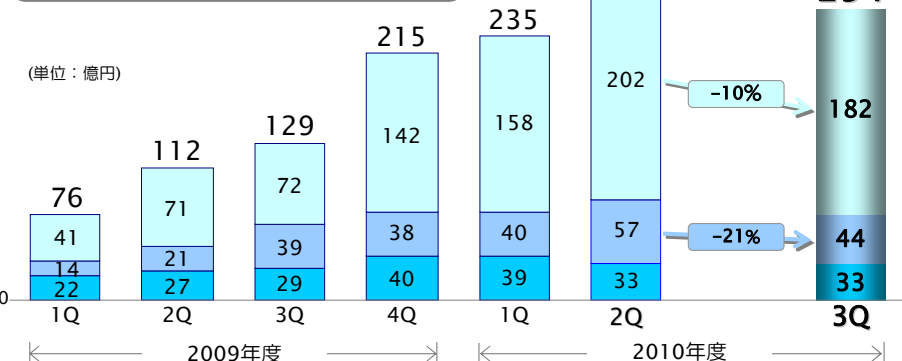
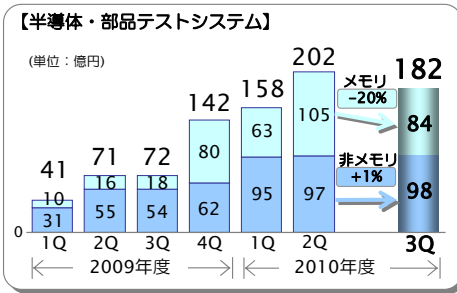
(台湾、中国)

PC用DRAM向けのメモリ・テストが大きく減少

またその他地域では、東南アジア圏で
テスト・ハンドラが伸びた

売上高 事業セグメント別

ADVANTEST.



※合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれております。
All Rights Reserved - Advantest Corporation

2011/1/27

○ 2010年度第3四半期の事業セグメント別売上高

○ 半導体・部品テストシステム事業

- ・前期比 10%減 182億円

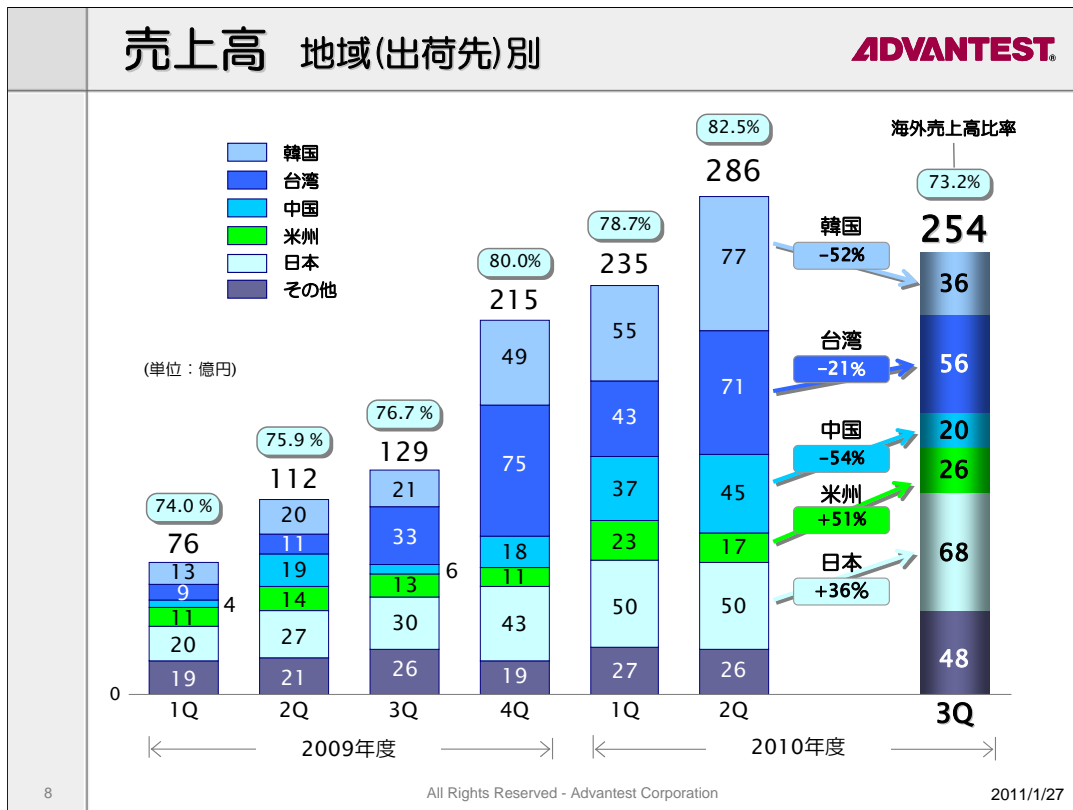
- ・メモリ・テスト
前期比 20%減

- ・非メモリ・テスト
前期比 1%増
MPU向けのT2000が牽引

○ メカトロニクス関連事業

- ・前期比 21%減 44億円

- ・デバイス・インタフェース、テスト・ハンドラが
メモリ・テスト投資抑制に追随して減少



○ 地域別売上高

- ・ 日本、米州で増加

○ 主な地域の動向

(韓国)

前期比52%減 36億円
メモリ・テストが減少

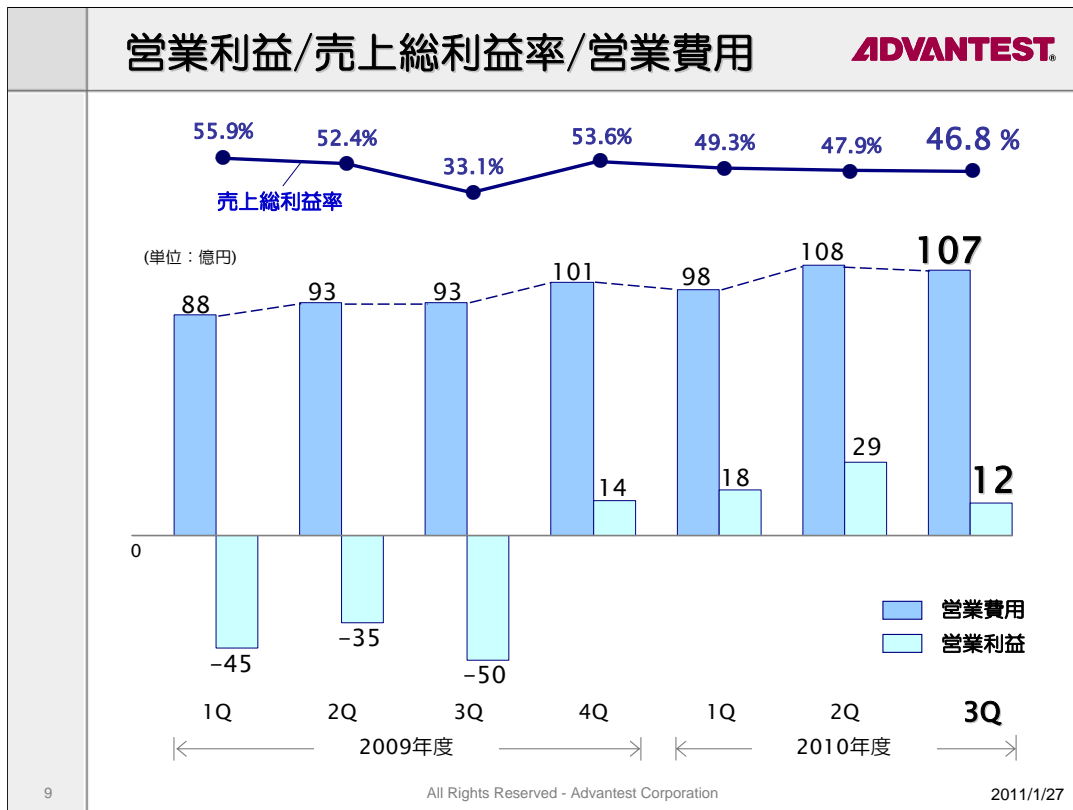
(台湾)

前期比21%減 56億円
メモリ・テスト、テスト・ハンドラが減少

(中国)

前期比54%減 20億円
メモリ・テストが減少

またその他地域では、東南アジア圏で
非メモリ・テストが伸びた



○ 2010年度第3四半期

- ・ 売上総利益率
 前期比 1.1ポイント減 46.8%
 製品ミックスの悪化

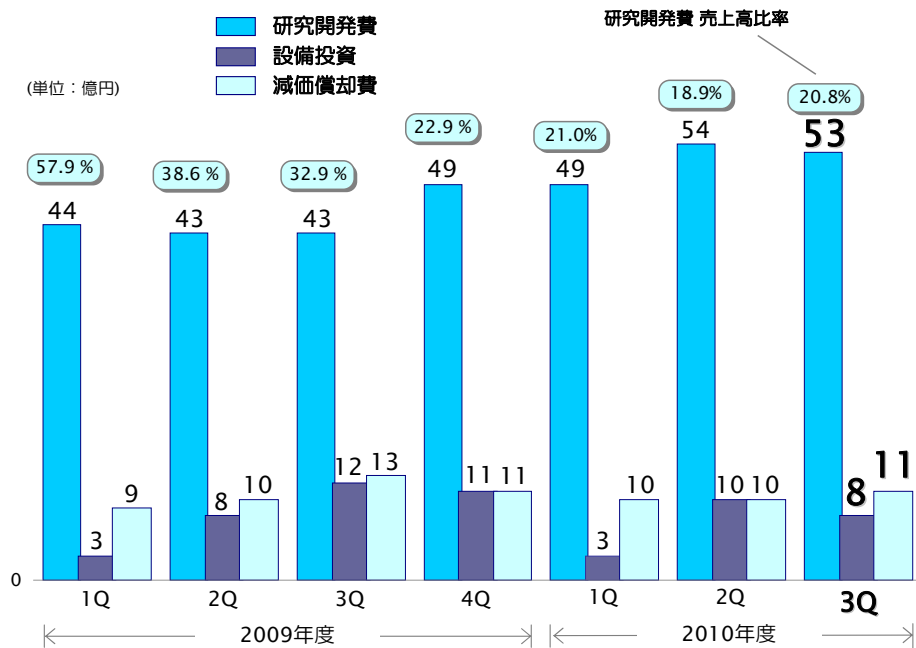
- ・ 営業費用
 前期比 1億円減 107億円

この結果、

- ・ 営業利益
 前期比17億円減 12億円

研究開発費／設備投資／減価償却費

ADVANTEST.



10

All Rights Reserved - Advantest Corporation

2011/1/27

○ 研究開発費

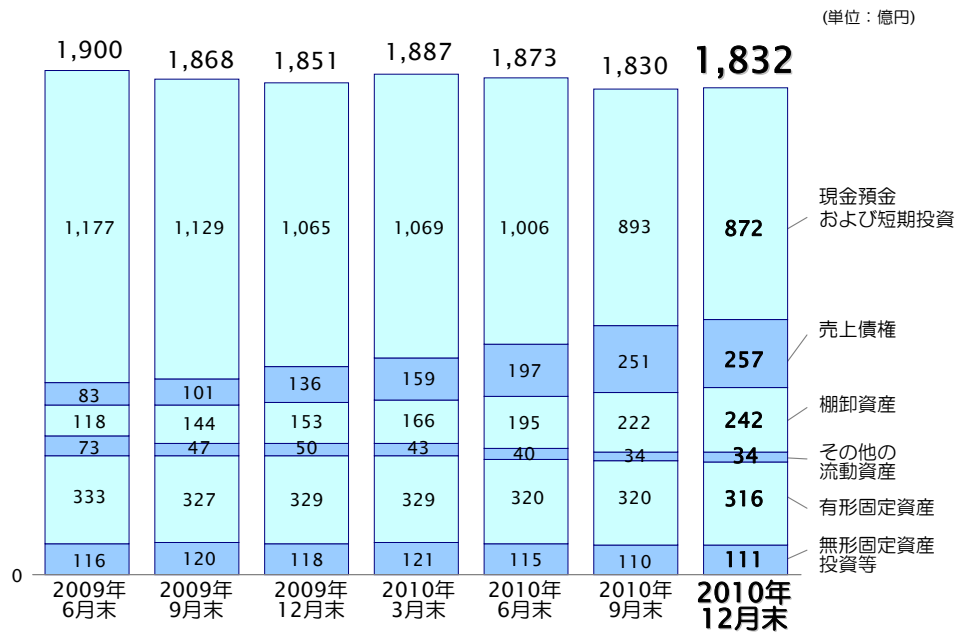
- ・ 53億円 前期比 1億円減少

○ 設備投資

- ・ 8億円 前期比2億円減少

バランス・シート <資産の部>

ADVANTEST.



11

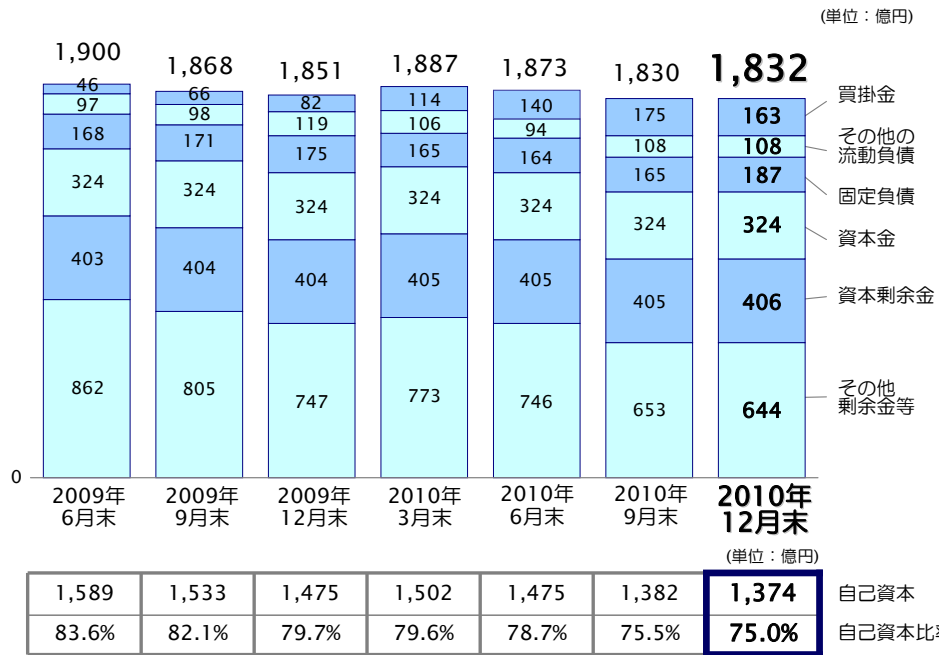
All Rights Reserved - Advantest Corporation

2011/1/27

- 2010年12月末現在のバランス・シート
- 資産の部
 - ・ 現金預金および短期投資 872億円

バランス・シート <負債・資本の部>

ADVANTEST.



12

All Rights Reserved - Advantest Corporation

2011/1/27

○ 負債・資本の部

・ 自己資本 1,374億円

・ 自己資本比率
75.0%

以上、2010年度第3四半期の決算について
ご説明いたしました。

2010年度 通期見通し

売上高1,000億円
3期ぶりの最終黒字化を見通す

2010年度 業績予想

ADVANTEST.

売上高1,000億円
3期ぶりの最終黒字化を見通す

(単位：億円)

	2009 年度	2010年度			前年度比 (%)
		1Q-3Q 累計	4Q (予想)	通期 (予想)	
受注高	677	754	196	950	40.3
売上高	532	775	225	1,000	87.9
営業利益	-116	60	5	65	-
当期純利益	-115	33	2	35	-
受注残	203	182	153	153	-24.6

14

All Rights Reserved - Advantest Corporation

2011/1/27

○ 2010年度第4四半期の予想

- ・ 受注高 196億円
- ・ 売上高 225億円
- ・ 営業利益 5億円
- ・ 当期純利益 2億円

○ その結果、

2010年度通期の業績予想

- ・ 受注高 950億円
前年度比 40.3%増
- ・ 売上高 1,000億円
前年度比 87.9%増
- ・ 営業利益 65億円
前期に比べ181億円増加
- ・ 当期純利益 35億円
前期に比べ150億円増加

以上により、2007年度以来3期ぶりの最終黒字化を見通す

- 最終製品や部品の需給軟調により、現在のテスト事業の環境は強い逆風下
- しかし当社テスト事業には以下のようなポジティブ要素が控える。今後の業績向上を期待

<非メモリ>

- ・PC用次世代MPUの普及による、MPUテスト需要の伸長
- ・2010年10月以降に発表した、CMOSイメージセンサ向けやPMIC向けなど、新分野でのT2000ソリューションが好評

<メモリ>

- ・PC用次世代MPUの普及に連動して、PC搭載DRAMの高速化および搭載容量の進展
- ・モバイルDRAM需要拡大中
- ・PC用DRAM価格の底打ちに伴う、顧客各社の投資意欲回復

- 第4四半期以降の事業環境を概観すると
当社にとってポジティブな要素が多数存在します
- 今後の当社のテスト事業は、最終製品や部品の在庫調整が完了次第、
新たな上昇局面に入ると考えております
- まず非メモリ分野では、
PCに搭載されるMPUが今年から次世代品へ切り替わり、
それらを効率良くテストするための需要が見込まれること、
2010年秋以降、相次いで発表したT2000の新ソリューションが
好評であること、
などが挙げられます
- メモリ分野では、
先ほど申し上げた次世代MPUの普及に伴い、
PCに搭載されるDRAMの高速化・容量増が進むと見込まれます。
一方、スマートフォンやタブレット端末に使用される
モバイルDRAMは、順調に需要が拡大しています。
また、PC用DRAM価格下落の底打ちが早晚起り、
顧客各社の投資意欲も順次回復されると期待しています

以上のような要素から、当面は厳しい環境が続くものの、
徐々に当社の業績は好転するものと思われれます

ご注意

- ◆ 当社は米国会計基準を採用しております。
- ◆ 将来の見通しに関する記述について
本プレゼンテーション資料およびアドバンテスト代表者が口頭にて提供する情報には、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれています。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているもの又は暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されています。